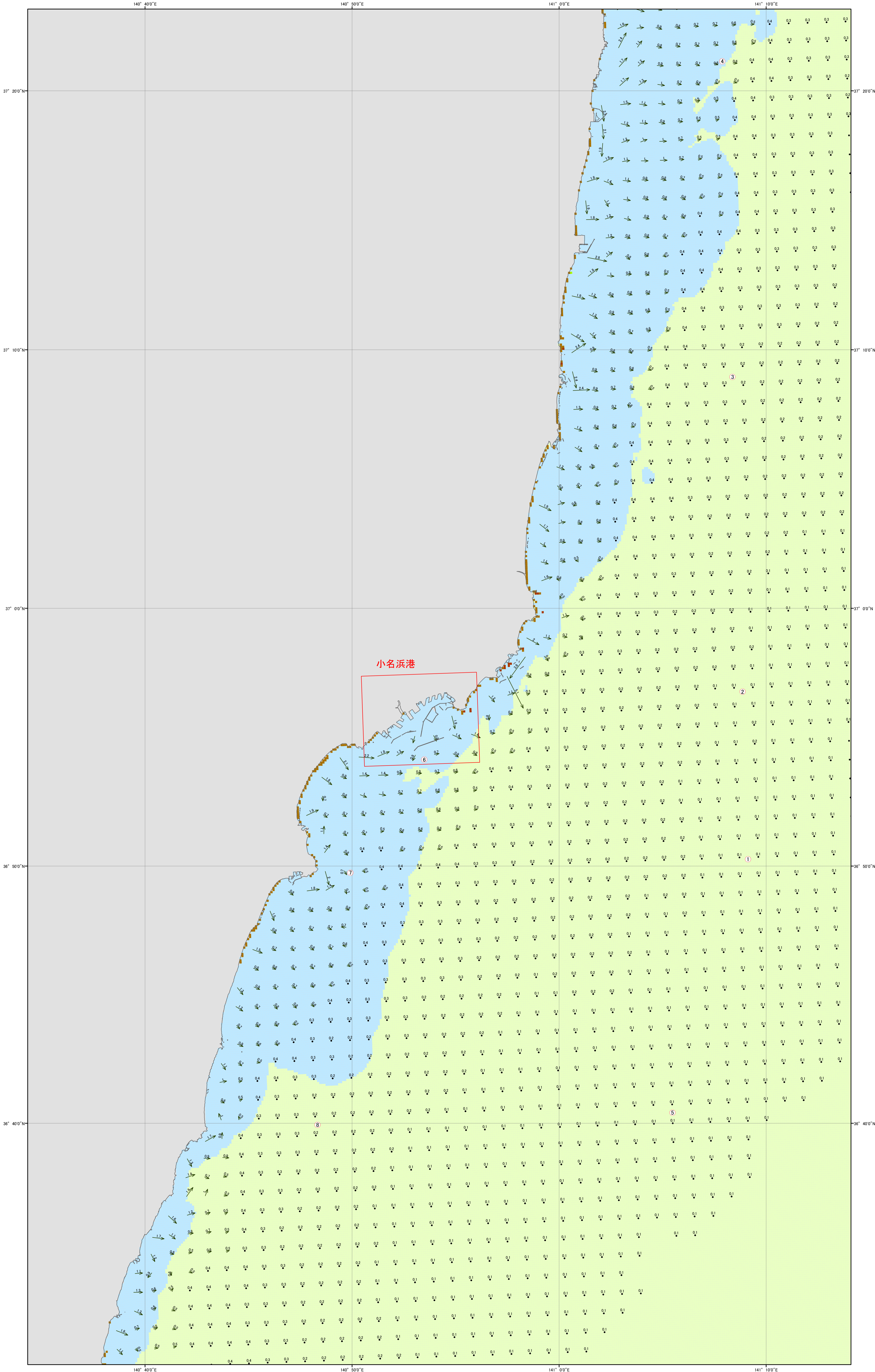


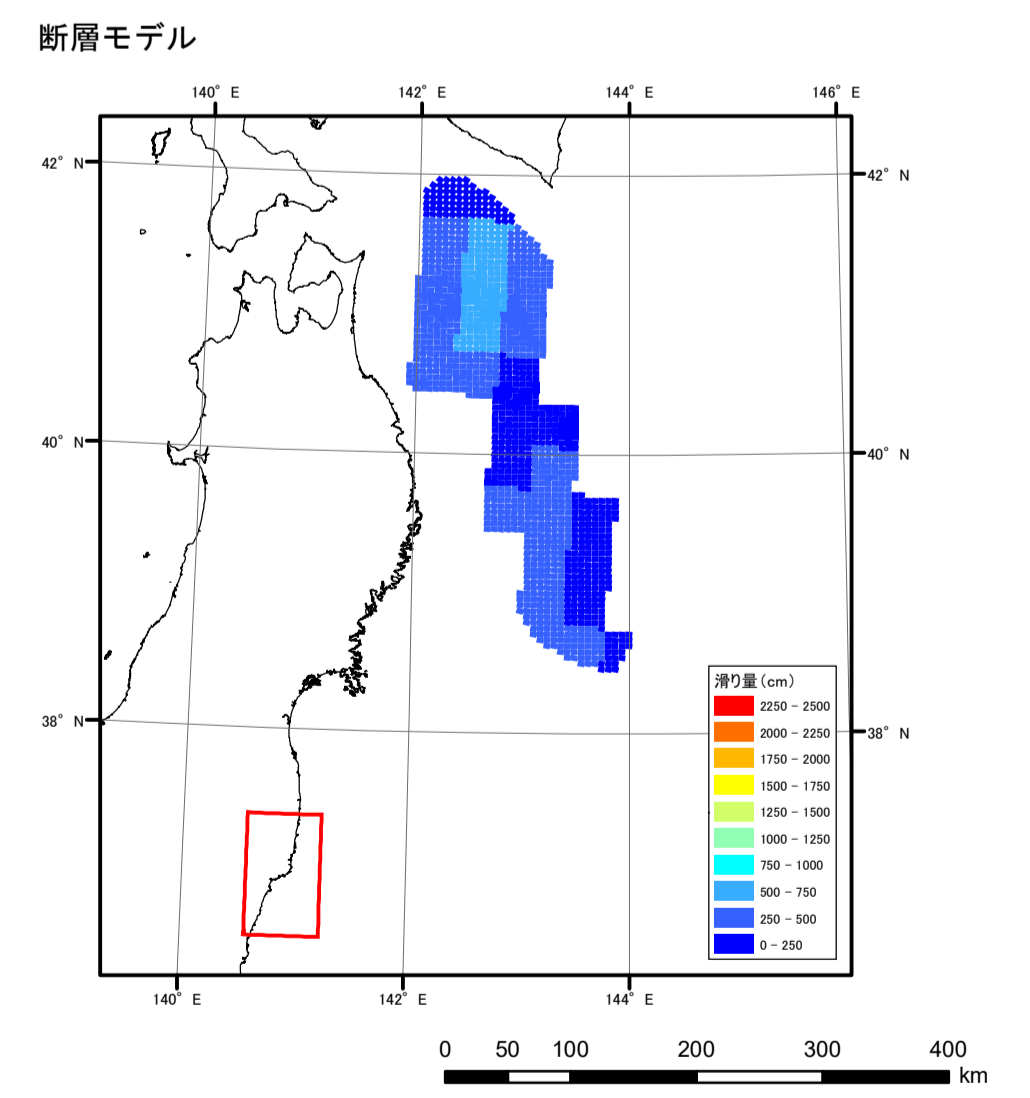
計算条件: 最低水面(零位)
隆起量: 平均 -0.01m
Zo: 0.84m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例

- 最大水位低下
 - 2~最大2.0m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 干出域
- 露出域
- 経時変化図出力点 (図上の位置における津波の挙動を時間の経時変化図で示す。)
- (例) 水位、流向・流速経時変化図 (Includes a small line graph showing water level and flow velocity over time.)
- 引潮時最大流 (knot)
 - 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot
- 流向、流速については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 0.4ノット以下は流向変化が難しく、進入・引潮等の判別が困難なため、流速のみを表示した。



本断層モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会(平成25年12月19日発表)」により公表されたものである。